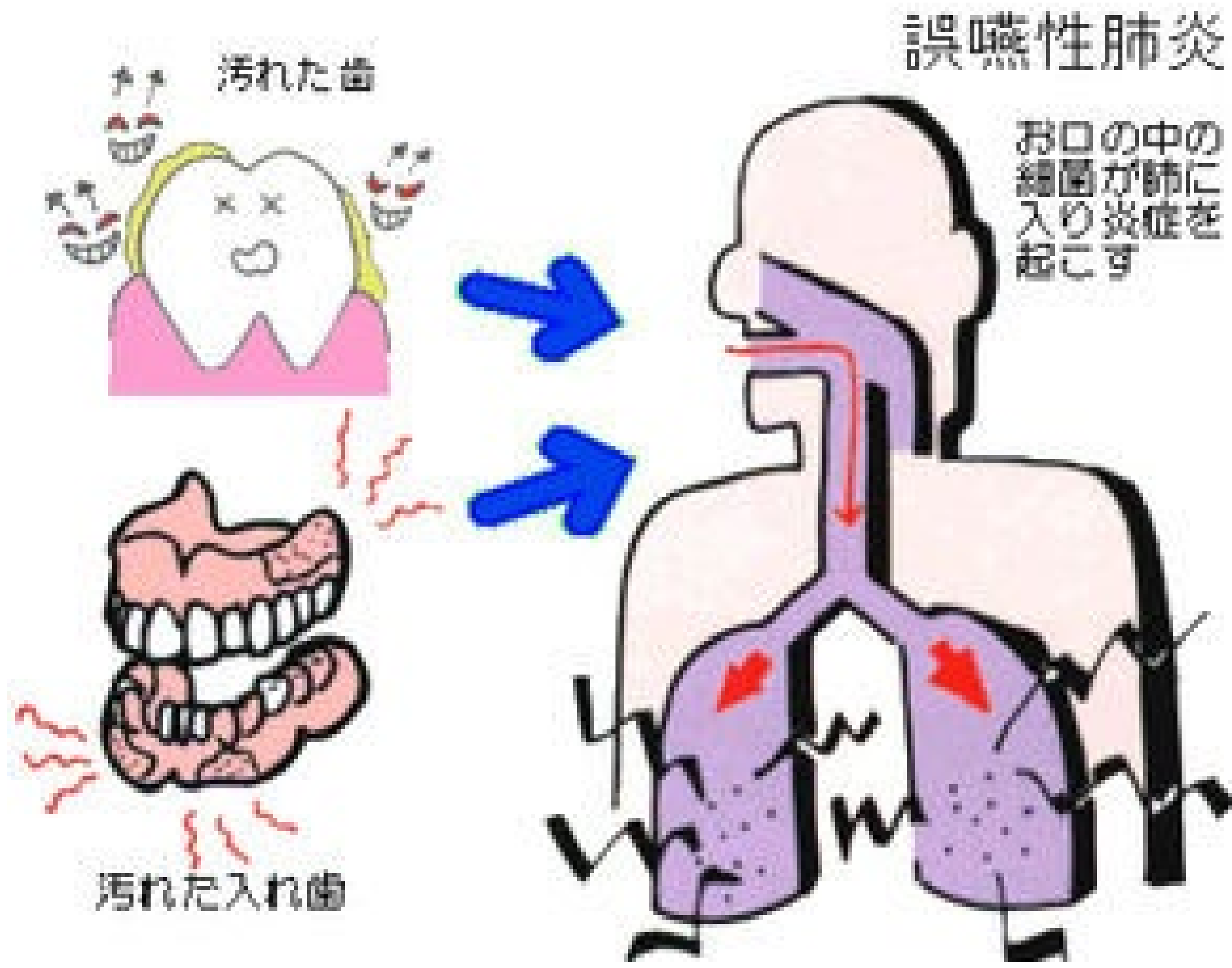
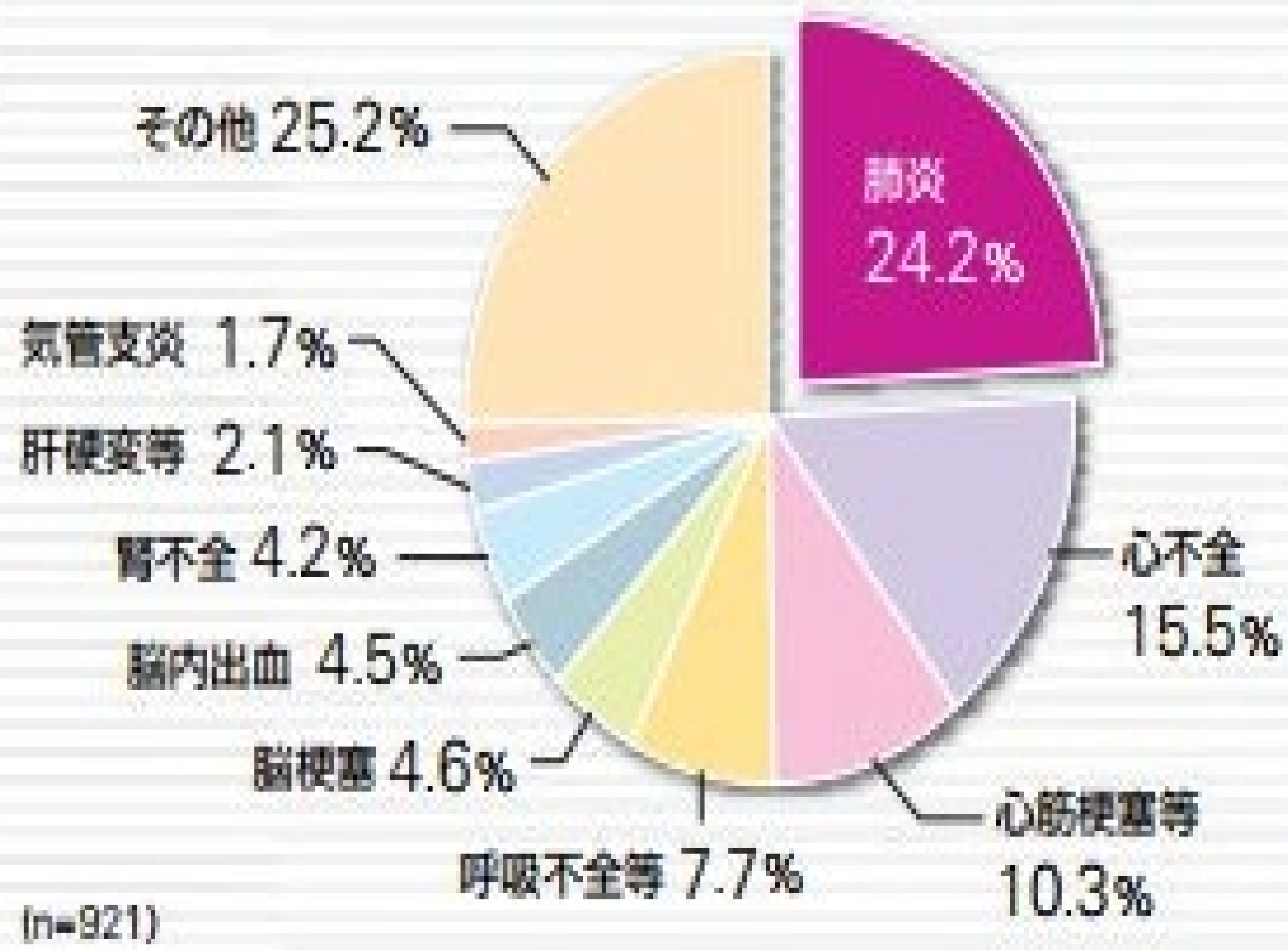


災害時のお口のケア



阪神・淡路大震災(95年)における「関連死」の死因別割合



95年の阪神・淡路大震災で、関連死(地震が直接の原因ではない死)のうち最も多かったのは肺炎でした。一般に、肺炎のうち何割かは誤嚥性肺炎と言われます。避難所生活では口腔の衛生状態を保つのが難しいことも一因となって、特に高齢者で肺炎などの呼吸器感染症が増える危険性があります。

資料：神戸新聞(2004年5月14日付)

災害時に起こり得るお口のリスク

- 口の渇き
- 入れ歯の紛失・破損による栄養摂取困難
- ストレスや疲労による口内炎や歯ぐきの腫れ
- 歯ブラシができないことによるお口の環境の悪化
- **歯周病の進行・悪化**

やってみよう！！唾液マッサージ



災害時に役立つケアグッズ



ハブラシ代わりに！！

唾液の分泌促進！！
お口の不快感の解消に！！

歯肉炎や
お口の乾燥予防に！！

歯周病により作り出される炎症性物質は**血糖をコントロールするインスリンを作りにくくし**、糖尿病を悪化させます。また、糖尿病に伴い起こるお口の環境の変化は、歯周病菌にとって好条件でありお互いに影響しあい良くも悪くもなるため、どちらか一方ではなく**双方の治療を行うことが望ましい**です。

災害時の口腔ケア方法

